

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	ガーデニング特別実習						授業形態	実習		
科目コード	710081	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	林 典生、金井 良一、吉田 晋弥								ICT活用	○
授業概要	造園・ガーデニングをキーワードに活躍されている外部講師が担当し、植物・花・緑・ガーデン修景物に関連する実践的な実習を展開する。実習内容は、本学のホームページのトピック欄等でも時々紹介しているので、参照してください。 吉田先生は、宮崎県の各地において、植物と緑による空間づくりに多大な実績がある。その内容について、先生ご自身が関わっている実際の公園（現場）に関する運営管理で学ぶことを目的とする。 金井先生は、独創的なガーデンづくりを展開しているガーデンデザイナーとして、テレビ番組等でも国内外で活躍中であり、その経験をフルに実習にフィードバックしていただく。金井先生と協働しながら、ものづくりの姿勢が直接伝授されることを目的とする。 二人の先生による実習内容を修得することにより、本学の造園・ガーデニング系実習の締めくくりとする。 なお、雨天時の場合等、実習の流れは変更する場合がありますので、受講生にはその都度お知らせいたします。									
関連する科目	本科目を受講するのに当たって事前に単位を修得しておくべき科目は、「造園ガーデニング実習Ⅰ・Ⅱ」であり、事前に単位を修得していない受講希望者は次年度以後に造園ガーデニング実習Ⅰ・Ⅱを履修した上で、再度履修を望みます。 （金井先生の実習では危険を伴う電動工具や重機等の機器類や石材をはじめとする重量物等の様々な材料類を取り扱うので、造園ガーデニング実習Ⅰ・Ⅱにてその取扱い方の基礎を習得する。）									
授業の進め方 と方法	吉田先生担当分は吉田先生らが監修している公園の管理方法やみどりの育成について、実際の公園現場で体感する。 金井先生担当分は受講者をグループに分け、目標としている課題を達成するための意識の働かせ方、身体の動かし方を体験する。 後期試験期間中にガーデニング特別実習の事前説明会を行いますので、必ず参加してください。 なお、実習風景等を撮影し、それに基づくプレゼンテーション資料を作成する場合があります。									
授業計画 【第1回】	1 回目 ガーデニング特別実習の概要説明及び亜熱帯植物の維持管理について（吉田先生担当分） ガーデニング特別実習の概要説明と亜熱帯植物園での実際の管理について現地で植物を見ながら管理方法を学習する。									
授業計画 【第2回】	2 回目 植物生産、性状についての研修（吉田先生担当分） 植物による景観づくり、植栽設計に植物栽培、性状を知ることが大事なのかを生産圃場を見学し栽培、植物性状を学ぶ。									
授業計画 【第3回】	3 回目 公園ビオトープについて説明の見学と研修（吉田先生担当分） ビオトープの概要説明及び管理方法等を説明する									
授業計画 【第4回】	4 回目 都市公園、英国式庭園の管理についての研修（吉田先生担当分） 都市公園の維持管理及びみやざきの英国式庭園について歴史と経緯、設計、維持管理などを解説する									
授業計画 【第5回】	ガーデンデザイン・創作実習からの学習 1（金井先生担当分） 担当講師紹介、ブリコラージュの考え方・実践方法を学ぶとともに、受講生との意見交換を行う。									
授業計画 【第6回】	ガーデンデザイン・創作実習からの学習 2（金井先生担当分） 担当講師の施工事例等の映像記録を鑑賞しその考え方・実践方法を学ぶ									
授業計画 【第7回】	ガーデンデザイン・創作実習からの学習 3（金井先生担当分） 施工例ごとのデザイン・施工方法を学習した後に、テーマ発表を行い、グループ分け・テーマ会場設営（雨天時実施場所も含めて）・現地調査を行う。									
授業計画 【第8回】	ガーデンデザイン・創作①（金井先生担当分） テーマに沿って自分たちのイメージするデザイン考え、同じグループの学生間及び担当講師との意見交換を行う中で、デザインの方法を学ぶ。									
授業計画 【第9回】	ガーデンデザイン・創作②（金井先生担当分） デザインに合う材料(素材)を考える。実際の素材を探す（集める）事を通じて、素材の特性および特性を生かした施工方法を学ぶ									
授業計画 【第10回】	ガーデンデザイン・創作③（金井先生担当分） 素材を組み合わせでデザインに沿う実際の作品を制作する。安全を第一にしながら制作することを通じて、制作方法を学ぶ①									

【第10回】素材を組み合わせ、デザインに沿った作品を制作する。安全を第一にしながら制作することを通じて、制作方法を学ぶ①

授業計画 【第11回】	ガーデンデザイン・創作④（金井先生担当） 素材を組み合わせでデザインに沿う実際の作品を制作する。安全を第一にしながら制作することを通じて、制作方法を学ぶ②
授業計画 【第12回】	ガーデンデザイン・創作⑤（金井先生担当） 素材を組み合わせでデザインに沿う実際の作品を制作する。安全を第一にしながら制作することを通じて、制作方法を学ぶ③
授業計画 【第13回】	ガーデンデザイン・創作⑥（金井先生担当） 制作した作品の仕上げ作業を行う。仕上げた作品の伝達方法及び施工完了の確認などを通じて、完成方法を学ぶ
授業計画 【第14回】	ガーデンデザイン・創作⑦（金井先生担当） 資料（動画等も含む場合有）を作成し、プレゼンテーションの為に準備を行う。伝えるための資料制作方法を学ぶ。
授業計画 【第15回】	作品展示・発表、実習の総括など（金井先生担当） 作成した資料に基づき発表・プレゼンテーションを行い、意見交換を行う。自身のデザイン・制作した作品の表現方法を学ぶ。
授業の到達目標	ガーデニング活動に関する実践活動を実社会において自信を持って展開できるように技術や考え方を修得する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	実習が開始したら、それぞれの先生より翌日は何を学ぶかの説明があるので、予め調べたり、課題に取り組んだりし、授業当日に尋ねられたら答えられるようにしておく。（30分程度）
授業時間外学習【復習】	実習を振り返り、その日学んだことをレポートにまとめる。（30分程度）
課題に対する フィードバック	前日に調べたり、取り組んだり、当日質問があったことに対し、授業中に教員がその場で回答する。 問題解決のヒントは、その場で示される。
評価方法・基準	実習の参加態度（担当教職員との意見交換・質疑応答の内容、作業への取り組み姿勢、実習で作成した成果物（動画等を用いたプレゼンテーション資料も含む場合が有ります。）等も含む）と最終回以後にまとめて提出するレポートの内容により評価を行う（100点）。 特に吉田先生担当は実施日2日のうち1日でも欠席した場合、日数不足になるので、注意する事。 また、金井先生担当は欠席した場合、進捗状況に影響が出るので体調管理を万全にする事。
テキスト	授業開始時または説明会時にプリント配布 教員が説明することそのものがテキストとなる。
参考書	金井先生担当は以下の書籍並びに動画になります。 金井良一氏のガーデニングに関する一連の著書、 ・金井良一の手づくりガーデン(2001) ・金井良一のウェルカム・ガーデン(2003) 等があります。 また、YouTubeの動画：カナイスタイルシリーズ 日本庭園 庭リメイク DIY 園庭(チャイルドガーデン) など250本以上配信中 吉田先生担当は公益社団法人みやざき公園協会のホームページになります。
備考	授業の説明会を実施します（後期試験期間中に予定）ので、必ず参加すること。 生活園芸士の取得を考えている学生は、本科目の受講以前に造園ガーデニング実習Ⅰ・Ⅱの単位を取得しておくこと。春休みに集中講義として実施するが、他の集中講義との重複がないようにすること。